



所丁番地3  
目50~31組会員一  
478協同委  
行田蒲(732)業及輯編藤  
大話田編紙佐印江社  
京都電蒲機  
東京株式会社  
東新輝堂

# 新春放談あれこれ

数あるものには

手を出さない

司会者 あけましておめでとう 大正、昭和と、年代によって考え方の違いが出るなど、なかなか面白い放談会になったわけですが、またたゞる、新春早々にもかかわりませず多数ご出席いただきまして心から厚くお礼申上げます。

早速ではございますが、時間の関係もございますので、放談に移させていただきたいと思います。

昨年の新春放談会のときには、物資不足特に鋼材等の不足、買い溜めの問題が俎上にのぼり、それに対する経営者としての基本姿勢についての討論があつて、明治

明けましておめでとうございます。

昭和五十年の新春を迎えて、組合員の皆様方に益々健勝の年を捧げま

## 年頭ご挨拶



蒲田工業協同組合

理事長 新 海 衛

あけましておめでとうございます。

また、本組合の指導事業の一端として設立いたしました青年部会も、役員の方々の並々ならぬ努力と、会員各位の非常な熱意により、創立以来半

融引総理政策等々、企業を取りまく環境は極度に悪化し、インフレの熱意により、創立以来半

か」という順序で話を進めて参ります。

私も非常に悪い状態なものです。

A 私のところは、公害関係の設備の仕事をしていますが、從来

B 私のところは国鉄の車輌関係の仕事が多いのですが、本年度は昨年度より一割多了たため、それが多かった関係から、昨年

A 私のところは、公害関係の設備の仕事をしていますが、從来

車輌関連はよいと聞いていた

心配しています。それで、先良い話を聞かせていました

司会者 よいと言わされているAさんのところでも、忙しいだけだと思いますが、Aさんのところは、公害関係の設備の仕事をしていますが、従来

車輌関連はよいと聞いていた

車輌関連はよいと聞いていた

車輌関連はよいと聞いていた

心配しています。

司会者 よいと言わされているAさんのところでも、忙しいだけだと思いますが、Aさんのところは、公害関係の設備の仕事をしていますが、従来

車輌関連はよいと聞いていた

車輌関連はよいと聞いていた

車輌関連はよいと聞いていた

「年頭挨拶」

理事長 新海衛

蒲田工業協同組合

新春放談あれこれ

国家褒章受章

の榮輝く三氏

図書室より

ことばの泉

チヤキチヤキ

業務報告

連名廣告

（次頁）

の六四轉に増えたといつてもあります。

（次頁）

## 神の試練

(前頁より)  
たいたいと思います。

D 私のところは、X社の○○事業部の仕事をしています。この○○事業部というのは、X社の中でも、その先上位の四割強を占めている電電公社の仕事をしている部門ですが、今まで国の予算が毎年二割前後増え、公社でもそれに似合うよう予算を増やしていく、ますので、一般電機業界が要る、通信機の中でも電電公社に納入する部門は良いのではないかと思っていました。今回は政府の総需要抑制策のために押さえられ、六〇%減という惨憺たる有様です。これはどうしようもないの、X社の関連に泣きついてやつと前の三割減にまで漕ぎきったという現状です。

E 私のところも公共的な事業に係るものは非常に悪いです。Dさんから、「電話料金を上げるとしても、その程度ではどうしようもない」という話がありましたが、全くその通りで、と宣言しては、どうしようもないもので、X社の高騰を防ぐのが政府の狙いで、総需要抑制の基本方針を立てるにあつても思われませんし、電話は各家庭に普及してきましたが、毎月五千円程度使って貰わないと引き合わないのに、基本料金の千円と、あと何百円の度数料金、計一千円円という家庭がかなりあります。これが三千円に、二十円の封書が五十五円になるというような上がり方なら潤つかもしれませんが、そこそこもダメだと思いますし、全く

F お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていますので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

G 私のところは、大型トラックの部品を中心としていますが、今年の夏頃から徐々に企業を切り替えて縮少し、現在では二十人ぐらいでやっています。私が本音で、今年の夏頃から徐々に企業を切り替えて縮少し、現

先ず、Dさんから、……。

はメーカーの在庫調整のため、三ヶ月くらい落ち込みましたが、その後、皆さんご承知のように、大手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

尼寺 春一  
尼寺空庄工業株式会社  
石森 勝蔵  
深尾電線製造株式会社  
大谷 勇威  
株式会社大谷造機所  
浦 英司  
坂口精密工業株式会社  
佐藤 精一  
株式会社藤原製作所  
正田 竜三  
蒲田工業協同組合  
新海 衛  
高橋 順弘  
杉谷 伸平  
杉谷金属工業株式会社  
関屋 知一  
関屋窯業工業株式会社  
武山 嘉平次  
株式会社鶴川製作所  
竹中 稔  
株式会社竹中機械製作所  
高橋 秀雄  
株式会社コロナ電業社  
千葉 哲也  
太産工業株式会社  
武山 秀夫  
顧問弁護士  
富田 耕平  
蒲田工業協同組合  
長坂 基秀  
長坂精機株式会社  
野口 忠爾  
株式会社羽田バイプ製造所  
永森 忠幸  
永森電機株式会社  
蛭田 正司  
株式会社蛭田電機製作所  
赤井 弘志  
赤井弘志  
(五十音順、略称)  
(次頁へ)

関連業種が多いほどよい

司会者 今、Gさんから輸出の一話が出ましたが、輸出関係はよいと聞いていますが、Hさん、如何ですか。

H 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

J 電線業界は、他の業界よりも潜り込みが早く回も早いのですが、今は全く底で、繊維

K 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

L 電線業界は、他の業界よりも潜り込みが早く回も早いのですが、今は全く底で、繊維

M 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

N 電線業界は、他の業界よりも潜り込みが早く回も早いのですが、今は全く底で、繊維

O 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

P 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

Q 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

R 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

S 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

T 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

U 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

V 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

W 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

X 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

Y 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

Z 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

A 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

B 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

C 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

D 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

E 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

F 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

G 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

H 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

I 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

J 私のところは建設機械の部品加工をやっていますが、親会社

出席者

(五十音順、略称)

(次頁へ)

(前頁より)  
たいたいと思います。  
D 私のところは、X社の○○事業部の仕事をしています。この○○事業部というのは、X社の中でも、その先上位の四割強を占めている電電公社の仕事をしている部門ですが、今まで国の予算が毎年二割前後増え、公社でもそれに似合うよう予算を増やしていく、ますので、一般電機業界が要る、通信機の中でも電電公社に納入する部門は良いのではないかと思っていました。今回は政府の総需要抑制策のために押さえられ、六〇%減という惨憺たる有様です。これはどうしようもないもので、X社の関連に泣きついてやつと前の三割減にまで漕ぎきったという現状です。

E 私のところも公共的な事業に係るものは非常に悪いです。Dさんから、「電話料金を上げるとしても、その程度ではどうしようもない」という話がありましたが、全くその通りで、と宣言しては、どうしようもないもので、X社の高騰を防ぐのが政府の狙いで、総需要抑制の基本方針を立てるにあつても思われませんし、電話は各家庭に普及してきましたが、毎月五千円程度使って貰わないと引き合わないのに、基本料金の千円と、あと何百円の度数料金、計一千円円という家庭がかなりあります。これが三千円に、二十円の封書が五十五円になるというような上がり方なら潤つかもしれませんが、そこそこもダメだと思いますし、全く

F お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

G 私のところは、大型トラックの部品を中心としていますが、今年の夏頃から徐々に企業を切り替えて縮少し、現

H はメーカーの在庫調整のため、三ヶ月くらい落ち込みましたが、その後、皆さんご承知のように、大手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

I お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

J お先真暗です。その中で、どうやって生き抜いて行くか、目下それに主力を注いでいます。手二社が、シェヤー争いで後続メーカーを躍落とすという戦略からか、増産をしていましたので、現在では一割弱減にまで戻ってきて、これから見通してますが、正直

K 私のところは、電線業界へ売上げているのです。電線業界への売り上げの七割

（前頁より）

(前頁より)

数でやつてあるもう一つの会社は、所謂完全な「品料理」で、「一品」品設計から始まる特殊なものを作っているのですが、輸出でされ、防衛厅の仕事であれ、造船関係であれ、というふうに間口を広げてきただが、これまで非常に助かつて、四月頃までは受注でござつており、當選に一余り納期が先になつてお客さんへ失礼だから暫く営業活動はすまな」と言つてゐるなりで、そういう面ではやはり関連業種を手寄せないと、いうことが非常に多いということです。よだ先生方から、「二五%ぐらの流れには流されるといつて、よく先生方が、二五%ぐらの流れには流されるといつて、いつまで範囲内で別の関連業種を持つべきだ、という話を聞いていましたが、まだお客さんへ失礼だから、というふうに間口を広げてきただが、これまで非常に助か

たのですが、これまで非常に助かつて、四月頃までは受注でござつており、當選に一余り納期が先になつてお客さんへ失礼だから、といつてはいけない、技術開発して自家製品をやっておられるKさんのように、ゼネラルとかオードというものが、はじめとの意味がほんとうに分つたような気がします。司会者 中小企業は下請けさん本だけなく、世界中どこの国でありますから、影響があるのは当然で、いつまで範囲内で別な業種を手寄せは強くなれない、と言われていたのですが、自

力でも、先程誰かが仰言つたように、いわゆる「技術革新」であります。でも、先程誰かが仰言つたよう

L 私は昭和五年に独立したの

M 私は昭和五年に独立したの

N 私は昭和五年に独立したの

O 私は昭和五年に独立したの

P 私は昭和五年に独立したの

Q 私は昭和五年に独立したの

R 私は昭和五年に独立したの

S 私は昭和五年に独立したの

T 私は昭和五年に独立したの

U 私は昭和五年に独立したの

V 私は昭和五年に独立したの

ましたが、今回の不況にぶつかり、落込であります。これは、日本だけなく、世界中どこの国でありますから、影響があるのは当然であります。中小企業は下請けさんもインフレに悩んでいて、アメリカではいかと思っていました。

## 一 盛 一 衰 の 年

L 私は昭和五年に独立したの

M 私は昭和五年に独立したの

N 私は昭和五年に独立したの

O 私は昭和五年に独立したの

P 私は昭和五年に独立したの

Q 私は昭和五年に独立したの

R 私は昭和五年に独立したの

S 私は昭和五年に独立したの

T 私は昭和五年に独立したの

U 私は昭和五年に独立したの

V 私は昭和五年に独立したの

W 私は昭和五年に独立したの

X 私は昭和五年に独立したの

Y 私は昭和五年に独立したの

Z 私は昭和五年に独立したの

Z 私は昭和五年に独立したの

Y 私は昭和五年に独立したの

X 私は昭和五年に独立したの

W 私は昭和五年に独立したの

V 私は昭和五年に独立したの

U 私は昭和五年に独立したの

T 私は昭和五年に独立したの

S 私は昭和五年に独立したの

R 私は昭和五年に独立したの

Q 私は昭和五年に独立したの

P 私は昭和五年に独立したの

O 私は昭和五年に独立したの

N 私は昭和五年に独立したの

M 私は昭和五年に独立したの

L 私は昭和五年に独立したの

J 私は昭和五年に独立したの

K 私は昭和五年に独立したの

I 私は昭和五年に独立したの

H 私は昭和五年に独立したの

G 私は昭和五年に独立したの

F 私は昭和五年に独立したの

E 私は昭和五年に独立したの

D 私は昭和五年に独立したの

C 私は昭和五年に独立したの

B 私は昭和五年に独立したの

A 私は昭和五年に独立したの

A 私は昭和五年に独立したの

B 私は昭和五年に独立したの

C 私は昭和五年に独立したの

D 私は昭和五年に独立したの

E 私は昭和五年に独立したの

F 私は昭和五年に独立したの

G 私は昭和五年に独立したの

H 私は昭和五年に独立したの

I 私は昭和五年に独立したの

J 私は昭和五年に独立したの

K 私は昭和五年に独立したの

L 私は昭和五年に独立したの

M 私は昭和五年に独立したの

N 私は昭和五年に独立したの

O 私は昭和五年に独立したの

P 私は昭和五年に独立したの

Q 私は昭和五年に独立したの

R 私は昭和五年に独立したの

S 私は昭和五年に独立したの

T 私は昭和五年に独立したの

U 私は昭和五年に独立したの

V 私は昭和五年に独立したの

W 私は昭和五年に独立したの

X 私は昭和五年に独立したの

Y 私は昭和五年に独立したの

Z 私は昭和五年に独立したの

## 国家褒章受章

### の栄に輝く三氏

新 海 衛 氏  
黄綬褒章受章

千 葉 哲 也 氏

紫綬褒章受章

新 海 衛 氏  
黄綬褒章受章

千 葉 哲 也 氏

紫綬褒章受章

新 海 衛 氏  
黄綬褒章受章

紫綬褒章受章



の名前を記す。この件は、当組合員牧豊一氏(大田区北郷谷)が黄綬褒章を受けました。

の名前を記す。この件は、当組合副理事長千葉哲也氏(大田区池上五丁目三番二号)が黄綬褒章を受けました。

の名前を記す。この件は、代表取締役社長(兼)が紫綬褒章を受けました。

の名前を記す。この件は、十二月十六日には当組合員牧豊一氏(大田区北郷谷)が黄綬褒章を受けました。

の名前を記す。この件は、当組合副理事長千葉哲也氏(大田区北郷谷)が黄綬褒章を受けました。



(前頁より)  
ターボウルにおいて開催した。  
上位入賞者左の通り。

団体の部

優勝 江崎工業株式会社(一)

準優勝 岩佐工機株式会社(二)

三位 有限会社三陽ダイカス(四三五点)

ト工業所(一、三五六点)

四位 炭研精工株式会社(一)

五位 株式会社鳥海製作所(一、三四六点)

個人の部

ハイシリーズ賞

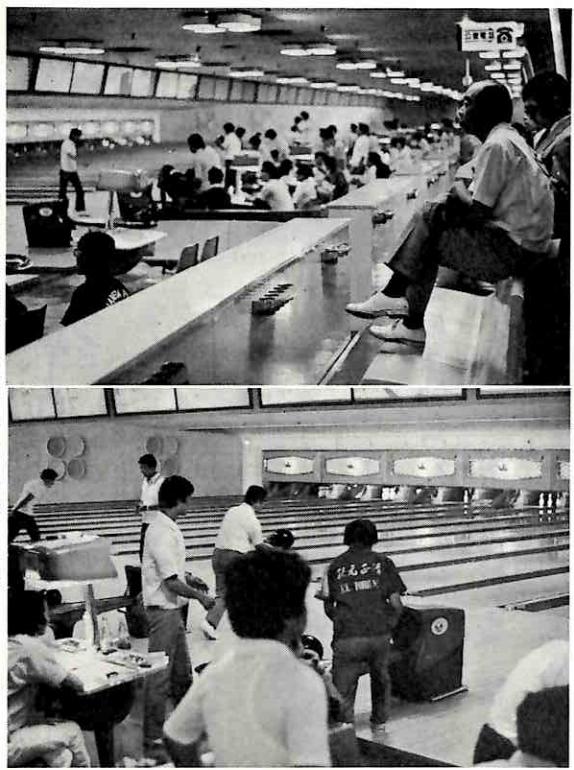
一位 中島国平氏(鳥海製作所五五一点)

二位 幸村保氏(江崎工業五三〇点)

三位 中村銀次郎氏(岩佐工機五三一点)

ハイゲーム賞

一位 石川兵衛氏(赤井製作所三三一点)



- 八月二十六日 技術指導講習会  
テーマ 図面の見方  
講師 東京都立羽田工業高等学  
校 大元 夫氏  
八月二十七日 技術指導講習会  
八月二十八日 技術指導講習会  
八月二十九日 技術指導講習会  
九月一日 技術指導講習会  
九月三日 週休二日制導入事例研  
究会  
講師 株式会社東電舎社長 石森 審藏氏  
九月四日 経営セミナー(青年部会  
議)  
テーマ 「アメリカの諸事情」  
講師 三義銀行本店國際部副部  
長 増田 温氏  
九月六日 旅行セミナー(青年部  
会)  
テーマ 「企業内反逆のバターン」  
講師 経済評論家 伊藤 肇氏  
九月六日 想談親睦会(青年部会)  
塩原温泉「ホテル明翠屋」で懇  
談懇親会を開催。

- 八月三十日まで五日間に亘って開催。  
尚、この技術指導講習会は八月  
三十日まで五日間に亘って開催。  
八月二十七日 技術指導講習会  
八月二十八日 技術指導講習会  
八月二十九日 技術指導講習会  
九月三日 技術指導講習会  
九月三日 技術指導講習会  
九月三日 技術指導講習会

九月九日 簿記実務講座  
講師 東京美術高等学校教諭 富地 政幸氏  
なお、この簿記講座は十一月十  
三日まで、毎週月水金曜日に開催  
修について通知。

九月十一日 正副部会員会議(青  
年部会)

九月十二日 中小企業技術短期研

九月十三日 麻雀大会実施について  
打合わせ。

九月十四日 麻雀大会

②オリエンテーリングについて  
打合わせ。九月十五日 正副部会長会議(青  
年部会)九月十六日 麻雀大会実施について  
打合わせ。九月十七日 麻雀大会実施について  
打合わせ。

九月十八日 簿記実務講座

九月十九日 簿記実務講座

九月二十日 簿記実務講座

九月廿一日 簿記実務講座

九月廿二日 簿記実務講座

九月廿三日 簿記実務講座

九月廿四日 簿記実務講座

九月廿五日 簿記実務講座

九月廿六日 正副部会長会議(青  
年部会)

九月廿七日 簿記実務講座

九月廿八日 簿記実務講座

九月廿九日 簿記実務講座

九月三十日 簿記実務講座

九月卅一日 簿記実務講座

九月卅二日 簿記実務講座

九月卅三日 簿記実務講座

九月卅四日 簿記実務講座

九月卅五日 簿記実務講座

九月卅六日 簿記実務講座

九月卅七日 簿記実務講座

九月卅八日 簿記実務講座

九月卅九日 簿記実務講座

九月卅日 簿記実務講座

九月卅一日 簿記実務講座

九月卅二日 簿記実務講座

九月卅三日 簿記実務講座

九月卅四日 簿記実務講座

九月卅五日 簿記実務講座

九月卅六日 簿記実務講座

九月卅七日 簿記実務講座

九月卅八日 簿記実務講座

九月卅九日 簿記実務講座

九月卅日 簿記実務講座

九月卅一日 簿記実務講座

九月卅二日 簿記実務講座

九月卅三日 簿記実務講座

九月卅四日 簿記実務講座

九月卅五日 簿記実務講座

九月卅六日 簿記実務講座

九月卅七日 簿記実務講座

九月卅八日 簿記実務講座

九月卅九日 簿記実務講座

九月卅日 簿記実務講座

九月卅一日 簿記実務講座

九月卅二日 簿記実務講座

九月卅三日 簿記実務講座

九月卅四日 簿記実務講座

九月卅五日 簿記実務講座

九月卅六日 簿記実務講座

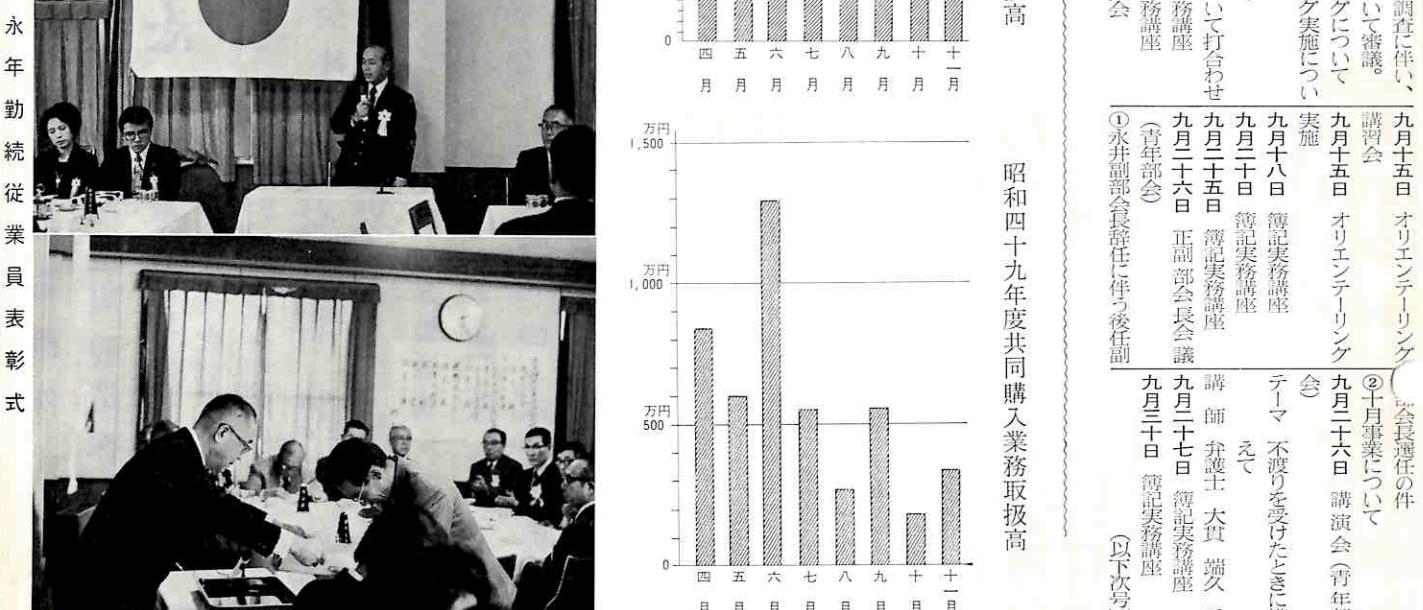
九月卅七日 簿記実務講座

九月卅八日 簿記実務講座

九月卅九日 簿記実務講座

九月卅日 簿記実務講座

九月卅一日 簿記実務講座



謹 賀 新 年  
蒲田工業協同組合  
新千歳高大神永村赤尼石内岡小佐関武富鳥長戸戸戸戸戸戸戸戸戸戸  
豊海老間正龍皓基保耕平知精利卯憲春静忠勇秀哲也衛爾  
厚教三司秀男平次一雄清助藏一志夫幸巖藏雄也衛爾  
監監事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事事  
會計主任会計主任事事事事事事事事事事事事事事事事事  
專務理事常任理事常任理事常任理事常任理事常任理事  
副理事長常任理事常任理事常任理事常任理事常任理事常任  
理事長常任理事常任理事常任理事常任理事常任理事常任  
顧問問問問問問問  
蒲田工業協同組合  
(五十音順)

祥んで新年のお喜びを申し上ます

蒲田工業協同組合販賣有志

(五十音順)

機械器具製造業

株式会社 旭川製作所

尼寺空圧工業株式会社

大野化学機械株式会社

合資会社 大津鉄工所

坂口精密工業株式会社

株式会社 小長井製作所

昭和精密工業株式会社

三栄工機株式会社

伸栄工業株式会社

太産工業株式会社

大東機械株式会社

株式会社 竹中機械製作所

炭研精工株式会社

ティ・ヴィ・バルブ株式会社

東亜株式会社

株式会社 東京精密器具製作所

東京ハーマン株式会社

株式会社 鳥海製作所

株式会社 中谷機械製作所

株式会社 長坂精機株式会社

株式会社 日鍛製作所

日本ギヤン無段变速機株式会社

株式会社 深尾精機株式会社

株式会社 藤田工業株式会社

株式会社 藤原製作所

合資会社 古川機械製作所

電気機械器具製造業

岩佐工機株式会社

合資会社 佐々木発条製作所

関屋窯炉工業株式会社

同和発条株式会社

株式会社 羽田発条製作所

株式会社 羽田パイプ製造所

有限会社 早崎製作所

株式会社 安藤鐵工所

神田産業株式会社

有限公司 本庄鉄工所

有限公司 武藤鉄工所

有限会社 京浜鋳造所

株式会社 東洋防錆工業株式会社  
エビナ電化工業株式会社  
新井久四郎鉄工所  
岡本工業株式会社  
新井久四郎鉄工所

株式会社 京浜鋳造所

有限公司 三陽ダイカスト工業所

有限公司 杉谷金属工業株式会社

有限公司 京浜鋳造所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 滝口製作所

株式会社 蛭田電機製作所

株式会社 合資会社 ユタカ製作所

株式会社 岩佐工機株式会社

株式会社 佐々木発条製作所

株式会社 関屋窯炉工業株式会社

株式会社 同和発条株式会社

株式会社 羽田発条製作所

株式会社 羽田パイプ製造所

株式会社 早崎製作所

株式会社 爱国鍛工所

株式会社 安藤鐵工所

株式会社 本庄鉄工所

株式会社 武藤鉄工所

株式会社 赤井製作所

株式会社 内田製作所

株式会社 協和鋳金株式会社

株式会社 清水鉄工所

株式会社 新海製作所

株式会社 大同製作所

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 永森電機株式会社

株式会社 輸送用機械器具製造業

株式会社 西野機械工業株式会社

株式会社 株式会社

株式会社 合資会社

株式会社 協和鋳金株式会社

株式会社 清水鉄工所

株式会社 新海製作所

株式会社 大同製作所

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社

株式会社 滝口製作所

株式会社 信光工業株式会社